

By Sanjeev Sinha

For Personal Use



1973年インド・ラジャスターン州生まれ。イ ンド工科大学で物理学修士課程と金融の修士 課程を修了。人工知能研究のため1996年に来 日。証券会社の数社に勤務後、現在、プライ スウォーターハウスクーパース株式会社ディ レクターとして、日本とインドのビジネスの 橋渡しに従事。英・日・ヒンディー語を駆使 して、様々な異文化交流に尽力している。主 な著書に「すごいインドーなぜグローバル人 材が輩出するのか」(新潮新書)がある。

Prudent or fast? To succeed globally requires a bit of both

It is often said that Japanese companies are careful and like to spend considerable time in preparation before embarking on a big project. This business practice can be a double-edged sword.

One of my friends who runs a company in India came to Japan to seek a business partner and I introduced him to a good candidate here. The Japanese CEO said he was interested in the proposal, but he would need two years as his company had just

started its research on the Indian market. My Indian friend wanted a partner in six months and couldn't wait any longer.

Two years have since passed. The Japanese company is finally set to start a project in India, while my Indian friend failed to establish a partnership with other foreign candidates, though they were quicker to respond.

India is changing rapidly, with its economy in good shape. Under such circumstances, Japanese

companies with traditional riskaverse attitudes may miss business opportunities in India.

As a matter of fact, as Japanese companies have carefully proceeded with research and planning, their foreign rivals have steadily built solid relationships with Indian partners.

Certainly, the Japanese style of careful planning has led to better quality in its products, services and infrastructure projects, but a mix of dynamism and prudence

is needed to win in this aggressive and competitive global market.

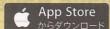


紙面から音声

このコーナーは、スマホやタ ブレットで英文音声を聴くこ とができます。無料アプリ「朝 日コネクト」をインストール。



起動したら、日付選択で発行日(11月15 日)に合わせ、英文の先頭にかざしてくだ さい。ダブルタップで全画面表示。詳細は http://t.asahi.com/connect ^





朝日ウイークリーのウェブサイト (http://www.asahi.com/english/weekly) でも、音声ファイルを公開しています。

Prudent (見出しから) 堅実な、 慎重な considerable

かなりの、相当な

embark(ing) on ~に着手する、乗り double-edged sword

両刃の剣

CEO 最高経営責任者。 chief executive officer の略

(be) set to ~することになって いる in good shape (調子が) 良い状態で

リスクを嫌う proceed(ed) with ~を進めてきた

risk-averse

着実に aggressive 積極的な、攻めの

steadily

But I never have miso soup for breakfast. 国際競争には、慎重さも勢いも必要です

日本企業は慎重で、大型プロジェクトに着手する前の準備に、かなりの時間を かけたがるとよく言われます。このビジネス手法は、両刃の剣になることがあり ます。

インドで会社を経営している友人が、ビジネスパートナーを探しに来日したの で、好ましい候補を紹介しました。日本人のトップは、企画案に興味はあるもの の、自分の会社がインド市場の調査を始めたばかりなので、2年待ってほしいと 言ったのです。インドの友人は6カ月後にはパートナーが必要で、それ以上は待 てませんでした。

それから2年が経ちました。その日本企業は、インドでプロジェクトを開始す る用意がようやく整いました。その一方で、インドの友人は、より速く反応を示 した別の外国企業との提携をし損ねました。

インドは急速に変化していて、経済も良い状態です。そうした状況の下では、伝 統的なリスク回避型の日本企業は、インドでのビジネスチャンスを逃すかもしれ ません。

実際のところ、日本企業が慎重に調査と計画を進めている間、外国のライバル 企業は、インドのパートナーと、ゆるぎない関係を着実に作り上げてきました。

確かに、日本式の綿密な計画立案は、製品やサービス、インフラ計画において、 より良い質をもたらしてきました。しかし、この積極的で、競争の激しいグロー バルな市場で勝つには、ダイナミズムと堅実さの両方が必要なのです。

(訳 井手和子)











I CAN'T BELIEVE IT ... SHE MUST THINK I'M

THE MOST STUPID PERSON ALIVE ...









ルーシーの瞳 [左コマから右へ]

- 1 チャーリー・ブラウ~ン♪♪
- ② 信じがたいな…彼女はボクが、この世 で一番マヌケなヤツだと思っているに 違いない…
- 3 ほら見て、チャーリー・ブラウン… タシがボールを支えるから、アンタが 蹴るのよ…/支えるだって? ほぉ! そりゃ笑える! どうせキミはボール を引っ込めて、ボクは死ぬ思いをする ことになるんだ!
- 4 なぜ、チャーリー・ブラウン、なんで そんなこと言うの? アタシ、信用で きないような顔してる? アタシの顔 には、純真さのかけらもないっていう
- 5 アタシのつぶらな瞳を見て…
- 6 その通りだな…女の子が罪のない目で っちを見つめてきたら、その子を信 じるしかないよ…
- ☑ 今度こそあのアメフトボールを、ま っすぐ月までとばしてやるぞ!
- ま文は、トピックセンテはる。8
- 9 ドッターン!
- 計り知れない貴重な意味を持つことに なるわ/トホホ!

(訳:夕)